

# 貧酸素水塊速報 (2016年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 ○ 神奈川県水産技術センター  
 【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁、国土交通省 関東地方整備局)  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会  
 ○ 東京都環境局  
 ○ (国)国立環境研究所  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成28年7月19～20日観測結果

貧酸素水塊は、内湾北部のほぼ全域に分布しており、また川崎沖と根岸湾の一部でもみられています。内湾北部の一部では、溶存酸素量が0.5ml/Lを下回る、ほぼ無酸素状態の水塊が観測されています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布では、貧酸素水塊の厚みは増加傾向で、また、規模も直近10年の平均並みに発達してきています(図2, 図3)。

内湾全域で赤潮が発生しており、特に北部沿岸は濃い赤潮状態です。

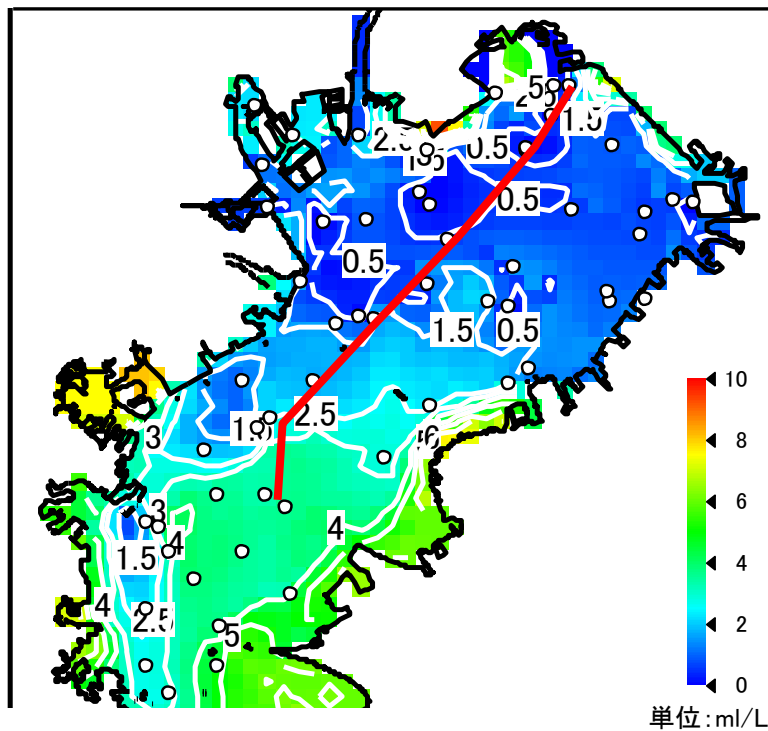


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

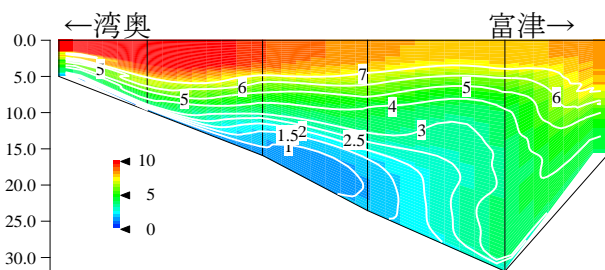


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

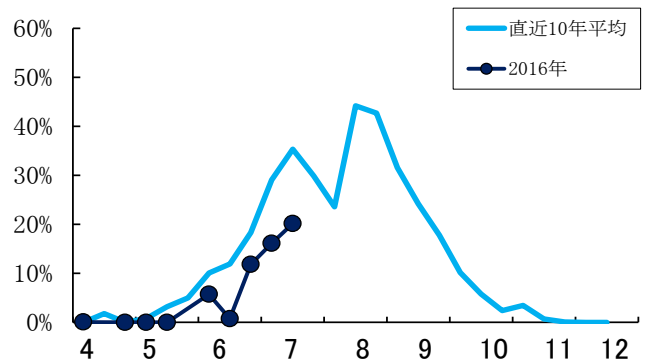


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)